



ものがたり 物語 たくさんのお月さま

サーバー作 スロボドキン絵 なかがわちひろ訳 とくましょてん 徳間書店

むかし、海^{うみ}への王^{おう}国^{こく}にすむレノアひめが、木^きイチゴのタルトをたべすぎて、びょうきになってしまいました。しばいした王^{おう}さまに、ひめは「お月^{つき}さまをもらったら、きつとげんきになるとおもうの」といいました。そこで王^{おう}さまは、かしこい家来^{けらい}たちに、月^{つき}をとってくるよう命^{めい}令^{れい}しましたが、だれにもできません。

さいごによばれたのは、お城^{しろ}の道化^{しやう}師^し。リユートをつまびきながら、よい方法^{ほうほう}をおもいつきます。
長^{なが}く親^{した}しまれてきた絵本^{えほん}が、幼^{よう}年^{ねん}向けの読^よみ物^{もの}となつて登^あ場^{じやう}です。

